

## 2025 年度「ひろしまコミュニティ基金」応募用紙\_様式 2

### 1. 活動名

ゆめもくば学習スペース提供事業 **「もくば元気塾」**

### 2. 主催

NPO 法人子育てネットゆめもくば

### 3. 対象となる活動の期間

2025 年 1 月 10 日～12 月 19 日 計 23 回 (ほぼ毎月 2 回)

### 4. 活動内容

【場所】 ハローズ東広島店 2 階 キッズプラザひがしひろしま「ゆめもくば」イベントスペース

【日時】 ほぼ毎月 2 回 金曜日 午後 5 時～7 時

【対象】 小学生 (主に低学年) 【定員】 6 名 【参加費】 無料

【学習サポーター】 大学生 2～3 名 (毎回)

子どもたちは、ドリルなど自主学習の教材を持ってやってきます。最初の 1 時間ほどは、大学生のお姉さんお兄さんに勉強を見てもらいながら、各々の課題 (算数の計算問題や国語の書き取りなど) をこなします。

後半の 1 時間は遊びの時間です。レゴブロックやボードゲームなどをして過ごします。イベントスペースは広いので、かくれんぼや鬼ごっこが始まることもあります。



夏休み中の 8 月は《もくば元気塾スペシャル》と銘打って、東広島市志和町の茅葺き古民家にバスで出かけ、楽しい 1 日を過ごしました。夕食はみんなでカレーを作って食べました。



## 2025 年度「ひろしまコミュニティ基金」応募用紙\_様式 2

### 5. 目的と意義

私たちがこの事業を始めたのは 2015 年です。当時「子どもの貧困」の問題がクローズアップされたこともあり、経済的に困窮している家庭の子どもたちが、学習環境において不利になることがないようというのが当初の目的でした。今でもその目的は生きていますが、10 年間の活動の中で見えてきたのは、家庭の経済状態にかかわらず、**どんな境遇の子どもも意外と窮屈な環境の中で暮らしている**のだなあということです。地域に暮らす様々な人とふれあう機会がとても乏しくなっています。

それで、子どもたちにとって、「もくば元気塾」のような、普段出会うことの少ない大学生のお姉さんお兄さんが（時には市民ボランティアも）心ゆくまで相手をしてくれる場所が、今こそまさに必要なのだと思うようになりました。格好いい言葉でいえば「**ナナメの関係**」「**第三の居場所**」です。

さらに、学校での教育は今でもクラス単位で行われており、学習速度についていけない子どもたちも多くいます。「もくば元気塾」では、子どもたちひとりひとりの学習の様子を観察し、**つまずきや苦手を克服する手助け**ができればいいなと考えています。必ずしもうまくいくことばかりではないと思いますが、自ら学ぶことが好きになってくれる子どもが一人でもいれば、これにまさる喜びはありません。それは、**サポーターの学生にとっても素晴らしい経験**になるはずです。

### 6. 拡がりと成果

私たちはこの事業を「広く知られるべき立派な活動」だとは思っていません。ただ、大切な**種まき**だとは考えていて、子どもたちがここで経験したことを心の糧にしてくれること、学生たちがここで体験を将来に活かしてくれることを願うだけです。種を蒔いても芽吹かないことはあります。けれど、**蒔かない種は決して生えない**。

数えてみましたところ、昨年 1 月から 12 月までの間の活動に**参加した児童は、延べ 95 人**でした。また、**サポーターとして一度でも携わってくれた学生**の数は**17 名**でした。

### 7. 反省と課題

「もくば元気塾」に興味を持って訪ねてこられる方もまれにいらっしゃいます。以前には、市内の大きな工場に勤務されるインド出身の方が何度か来られ、英語を教えてくださいました。このように、学生だけでなく様々な市民の方々の関わりがあれば、もっと豊かな経験を子どもたちに提供できるのではないかと思うことがあり、そういった輪を拡げることは必要だと考えています。

また、学生サポーターにもっと自発的な取り組みを促す必要があるのではないかと考えています。（かつては学生サポーターのチームが大学から表彰を受けたこともあります。）なにしろ、今はデジタル化、パーソナルメディア隆盛の時代ですから、企画段階から若い人の知識や感性が不可欠です。

### 8. おわりに

スタジオジブリの宮崎駿は、アニメ製作を通じて「子どもたちに『この世は生きるに値する』と**伝え続けたい**」と語っています。僭越ではありますが、私たちもこのメッセージを心に秘めつつ、今後も子どもたちに接していきます。なにとぞご採択いただきますようお願い申し上げます。

